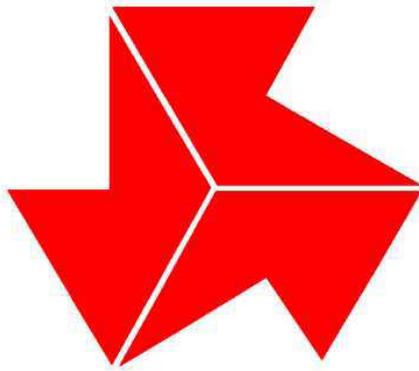


# 第38回全国高等学校選抜フェンシング大会 実施要項



主催 (公社) 日本フェンシング協会 (公財) 全国高等学校体育連盟

後援 文部科学省 秋田県 秋田県教育委員会

(公財) 秋田県体育協会 秋田県高等学校体育連盟

秋田市 秋田市教育委員会

主管 (公財) 全国高等学校体育連盟フェンシング専門部

秋田県高等学校体育連盟フェンシング専門部

秋田県フェンシング協会

## 1 期日

- (1) 開会式 平成26年3月21日(金) 15時～
- (2) 競技 平成26年3月22日(土)～23日(日) 2日間
- (3) 閉会式 平成26年3月23日(日) 15時～

## 2 会場

秋田市立体育館  
〒010-0973  
秋田県秋田市八橋本町六丁目12番20号

## 3 競技種目

男子フルーレ学校対抗戦 女子フルーレ学校対抗戦

## 4 日程 会場 秋田市立体育館 秋田市八橋本町6丁目12番20号

- (1) 技術委員会 平成26年3月21日(金) 10:00～
- (2) 監督会議 平成26年3月21日(金) 13:00～
- (3) 審判会議 平成26年3月21日(金) 14:00～
- (4) 開会式 平成26年3月21日(金) 15:00～
- (5) 競技 平成26年3月22日(土) 9:00～ (第1日 予選プール)  
3月23日(日) 9:00～ (第2日 決勝トーナメント)
- (6) 表彰・閉会式 平成26年3月23日(日) 15:00～

## 5 競技規則

- (1) (公社)日本フェンシング協会試合規則・(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部規程による。
- (2) 用具検査  
ア) 試合前に必ず用具の検査を受けること。  
イ) 検査の要領については、「15 申し合わせ事項」の(3)を参照のこと。

## 6 競技方法

- (1) プール方式及びトーナメント方式の混合方式とする。
- (2) 1チーム5名編成とし、試合は3名の総当たりで、リレー方式とする。
- (3) 男・女とも試合時間は予選は2分間(実働) トーナメントは3分間(実働)とする。

## 7 参加資格

- (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
- (2) 都道府県高等学校体育連盟に加盟している1年生及び2年生で大会参加の資格を得たもの。
- (3) 年齢は、平成7年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) 平成25年度に(公社)日本フェンシング協会に登録している個人及び(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部に加盟している学校
- (5) チーム編成において全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。

ただし、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。

(8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。

(9) 参加資格の特例

ア) 上記(1)(2)に定める生徒以外で(3)～(7)の大会参加資格を満たし、かつ在学する学校長が推薦する生徒を別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ) 上記(3)については、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は2回限りとする。

#### [大会参加資格の別途に定める規定]

1 学校教育法第82条の2、83条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。

2 以下の条項を具備すること。

(1) 大会参加を認める条件

ア) (公財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混合は認めない。

ウ) 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の大会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。

エ) 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間が高等学校にくらべて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際して守るべき条件

ア) 全国高等学校選抜フェンシング大会実施要項を遵守し、大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ) 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故発生に備えて傷害保険に加入しておく等、万全の事故対策を講じておくこと。

ウ) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(3) 外国人留学生の出場規定

ア) 永住権を有する者は大会実施要項の規定人員までエントリーできる。

イ) 一定期間査証(ビザ)を取得し、卒業を目的に日本の高等学校に在籍する者は、大会実施要項の規定人員の内1名エントリーできる。

#### 8 引率・監督について

(1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。

(2) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

(3) 男子・女子選手が同一校から参加するときはそれぞれの選手を指導する監督を必要とする。

#### 9 参加制限

(1) 各ブロック別に選抜される出場校数は、次のとおりとする。

ブロック別

	北海道東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
出場校数	5	6	3	3	4	3	2	5

(2) 各都道府県代表は1チームとする。

(3) 開催地都道府県は、別に男・女ともに1チーム加えることができる。

## 10 参加申込

### (1) 申込書類

ア) 申込用紙（「全国高体連フェンシング専門部ホームページ」からダウンロードしてください）  
2部（各々に押印して下さい）・データファイル

イ) 参加料振込領収書のコピー 1部

### (2) 申込方法

ア) 参加申込書の1部は下記(4)ア)宛、1部を下記(4)イ)宛へ書留郵便にて申し込むこと。

なお、監督が外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保険等）加入証の写しを1部ずつ同封すること。データファイルは下記(4)ウ)へ添付して送信すること。

イ) 参加料振込領収証のコピーは下記(4)イ)宛に同封すること。

(3) 各地区責任者は所定の用紙（「全国高体連フェンシング専門部ホームページ」からダウンロードして下さい）により地区推薦順位の1部を(4)ア)に郵送、(4)ウ)にデータファイルを添付して送信すること。

### (4) 申込先

ア) 〒862-8677 熊本県熊本市中央区大江6丁目1番33号 熊本県開新高等学校内  
（公財）全国高等学校体育連盟フェンシング部 和田 勝博 宛  
TEL 096-366-1201

イ) 〒018-3341 秋田県北秋田市伊勢町1-1 秋田県立秋田北鷹高等学校内  
第38回全国高等学校選抜フェンシング大会  
実行委員会事務局 松井 公章 宛  
TEL 0186-60-0151

ウ) 大会実行事務局メールアドレス

akitasenbatsu@yahoo.co.jp

(5) 申込期限 平成26年1月31日（金）必着

## 11 参加料

(1) 1チーム 35,000円

### (2) 振込方法

ア 振込用紙で下記銀行口座に振り込み領収書のコピーを参加申込書と同時に送付のこと。

イ 振込先

北都銀行 合川支店

口座番号 普通口座 1016377

口座名義 第38回 全国高等学校選抜フェンシング大会 実行委員会事務局 松井 公章

## 12 表彰

優勝校に持ち回り優勝旗、持ち回り優勝盾、レプリカ、賞状を授与する。

2位校に持ち回り準優勝盾、レプリカ、賞状を授与する。

3位校（2校）に盾、賞状を授与する。（3位決定戦なし）

## 13 宿泊

別紙「宿泊要項」による。

宿舎～会場間の輸送については、市バス、タクシーを各自利用する。

## 14 組合せ

- (1) 期 日 平成26年2月7日 (金)
- (2) 会 場 同志社大学(京都)
- (3) (公財) 全国高等学校体育連盟フェンシング専門部規定により行う。

## 15 申し合わせ事項

- (1) 大会参加に関する事項
  - ア) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
  - イ) 選手変更についてはエントリーした選手が怪我または病気により大会に出場出来なくなった場合、技術委員会の始まる48時間前までに学校長の承認を得て診断書を添え本専門部長あてに専門部規程の様式により書面にて提出し承認を得ること。
  - ウ) 外部指導者の監督については複数校の監督を兼ねることは出来ない。
- (2) 競技に関する事項
  - ア) 上下衣、ストッキングは必ず白色とすること。特に、試合中に膝が出てこない長いもので、かつ厚いものを着用すること。
  - イ) 上衣の中には必ず半袖プロテクターを着用し(FIE公認のユニホームでも着用のこと)、女子の選手は金属または硬い材料で出来ている胸当てを両胸に着用すること。また、その他の急所にも十分な防備をすること。
  - ウ) 選手は頭髮に注意し、試合に支障のないようにすること。特に、頭髮がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。
  - エ) ゼッケンを図のように作成し、各自後ろ足膝の上、外側に必ずつけること。姓を男子は黒字、女子は赤字でピスト係が判別できるよう(太さ1cm以上)に記入し、同一校に同姓の者がいる場合は識別できるまで名をつける。
  - オ) ベンチの入場者は、当該種目監督および登録選手とする。
  - カ) 外履き・内履きの靴は、競技会場・練習会場とも必ず区別すること。サンダル等は許可しない。
  - キ) 練習中はマスクなしでのファイティング・レッスンを禁止する。
  - ク) 剣の曲がり直しは、備え付けのベニヤ板の上で行うこと。また剣で床を突かないこと。
  - ケ) 大会会場に掲示できる部旗は幅2m以内で1校1枚とする。

ゼッケン

姓
学校名

- (3) 用具検査に関する事項
  - ア) 試合中の用具の破損は選手の責任とする。なお、予備の用具は必ず準備すること。
  - イ) 用具検査は次の要領にて行う。
    - (i) 検査対象は剣・ボディーコード・メタルジャケット・マスク・マスクケーブルとする。
    - (ii) 検査日時、検査項目、返却日時および用具・個数制限を次のようにする。
      - ・日 程 平成26年3月21日(金) 13:00~17:00  
(検査終了分については17時まで即日返却・それ以外は翌朝返却)
      - 平成26年3月22日(土) 8:00~試合終了(即時返却)
      - 23日(日) 8:00~試合終了(即時返却)
  - ・受付数(1チームにつき) [各校ごとにまとめて提出のこと]
    - 剣 : 15本以内
    - ボディーコード : 15本以内
    - メタルジャケット : 5枚以内
    - マスク : 5個以内
    - マスクケーブル : 5本以内
  - ・場 所 会場内「用具検査室」
- (4) プログラム配布について  
無償配布は下記のとおりとする。
  - ・出場校監督 1部
  - ・出場校 2部

(5) 練習について

① 秋田県青少年交流センター「ユースパル」 体育館

〒011-0905 秋田市寺内神屋敷3-1

②秋田市立体育館 サブアリーナ 〒010-0973 秋田県秋田市八橋本町六丁目12番20号

日程 平成26年3月20日(木) 9:00~17:00

平成26年3月21日(金) 9:00~15:00

試合会場 及び 練習会場のフロアを絶対に傷つけないでください!

剣を直すときは、必ず、ベニア板の上で行ってください!

## 用具判定基準

1 剣について下記の場合は許可しない。

(1) 剣身(ブレード)に錆の付着しているもの。

(2) ポイント、ガードの変形しているもの。

(3) 絶縁不備のもの。

① 剣先15cmの部分

② 金属製のヒルト

③ ポンメル

2 メタルジャケットについて

破れているもの、所定の電気抵抗値を超えているものは許可しない。

(特に縫い合わせて補修したもの、酸化しているもの等は予め点検しておくこと)

3 ボディーコードについて

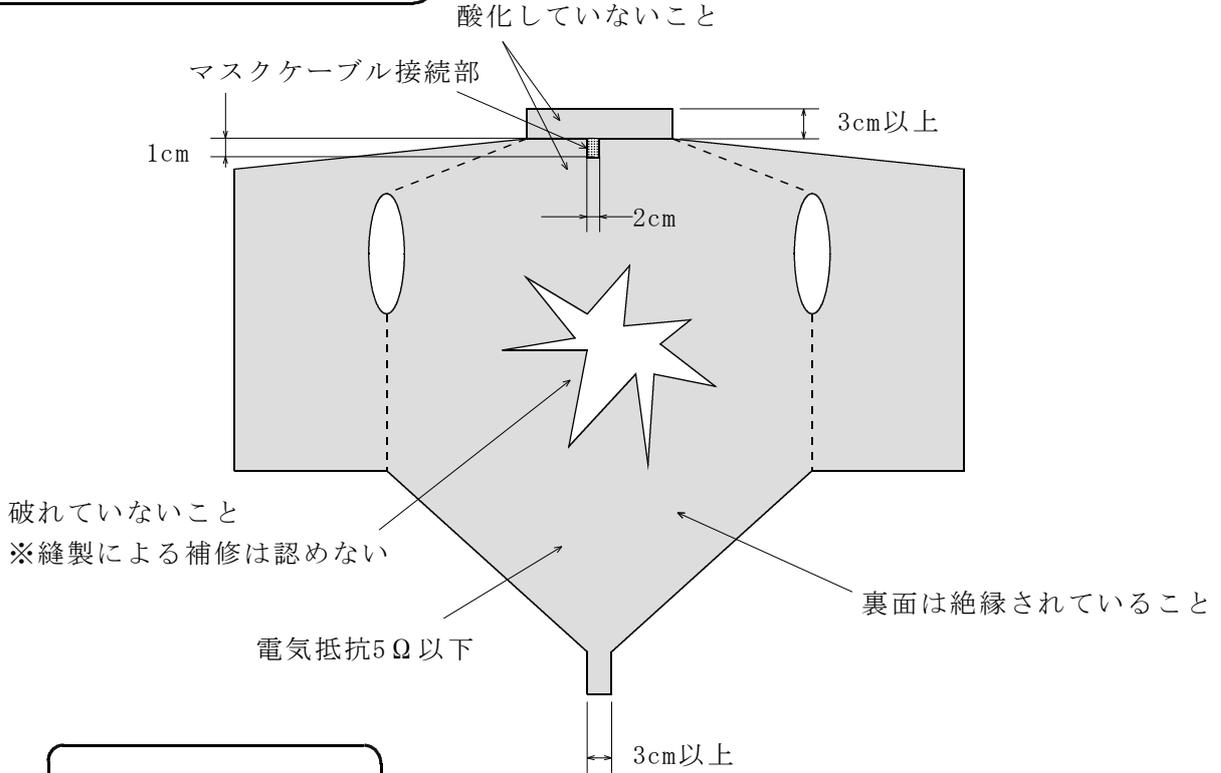
ボディーコードの「鰐口」クリップは10mm×8mm以下のものは許可しない。

4 マスクについて

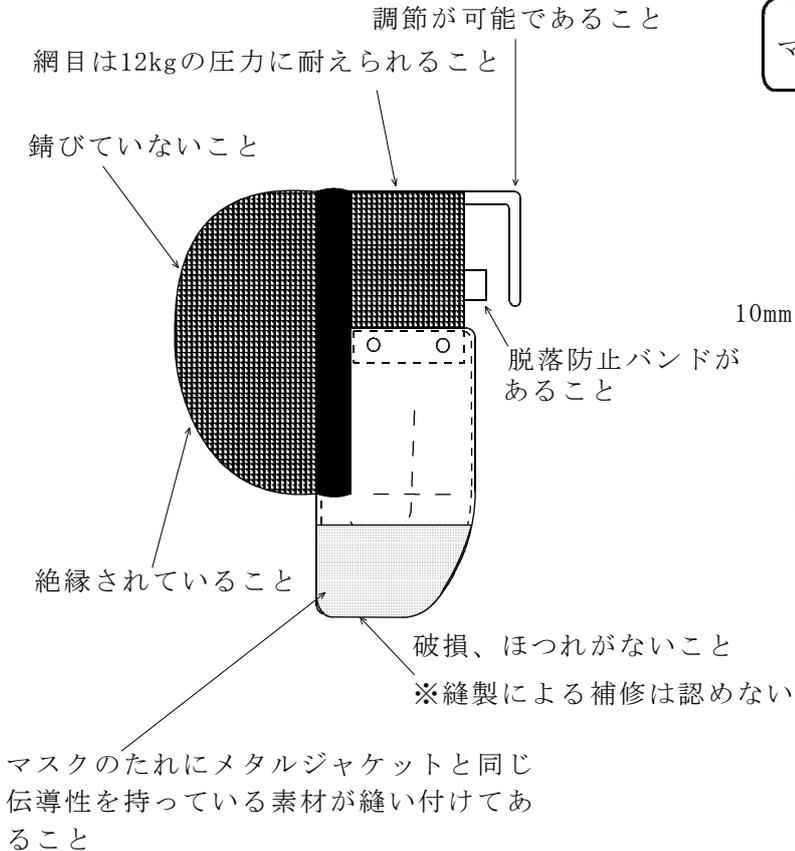
網目の腐食しているもの、バベットの老朽化し腐食、ほころびているものは許可しない。マスクのたれに規定のメタルが縫いつけてあること。マスクの網は内外とも絶縁されていること(試合中、マスクが容易に脱落することがあってはならず、脱落防止のための処置がほどこされていること)。

5 別に示す「図解」も併せて注意のこと

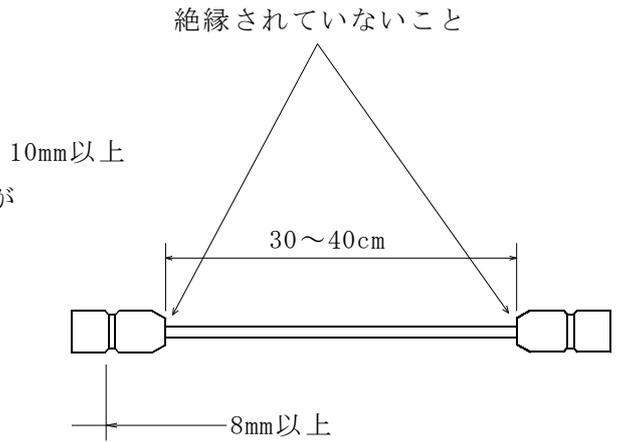
メタルジャケット：フルーレ



マスク：フルーレ



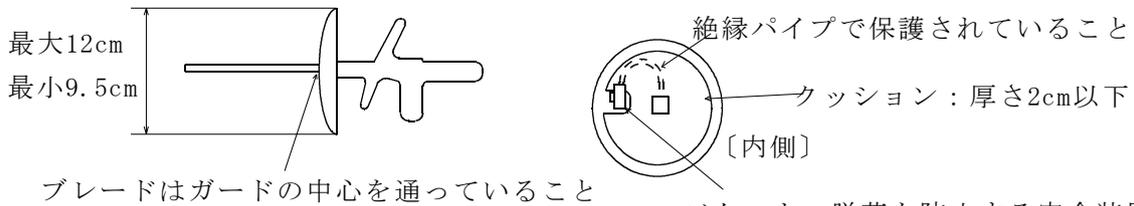
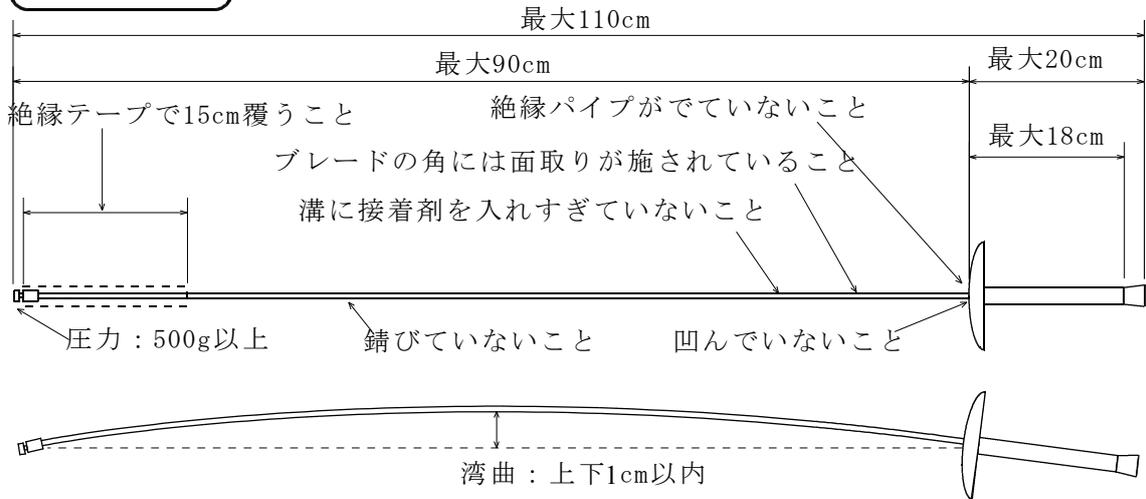
マスクケーブル：フルーレ



らせん状のケーブルの場合は25cm(5cmの許容範囲)を超過しないこと

剣：フルーレ

全重量：500g以下



ソケット：脱落を防止する安全装置がついていること

ボディーコード：フルーレ・サーブル

※断線、短絡、接触不良がないこと

